

社長通信

株式会社 福島人材派遣センター
代表取締役社長 安田 敬

2016 11・12月号

Vol.6



皆さんこんにちは。
大変ご無沙汰してましたが、社長通信 Vol.6 を発行いたしますので、引き続きどうぞ宜しくお願い致します。

28年度前半を振り返って。

派遣社員の皆様、委託事業並びに指定管理者事業にて就労いただいている皆様には、大変お世話になっております。この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

今年度もお陰様で、順調な会社運営をさせていただいております。前半を振り返りますと、派遣事業、職業紹介事業は順調に推移しております。特に紹介予定派遣や直接紹介をおこなう職業紹介事業は、既に前年の実績を上回ることが出来ました。

又、福島県を中心とする委託事業は、高等

学校向け進路アドバイザー配置事業を始め介護福祉人材就業支援事業など、同じく昨年度を大きく上回る実績を上げており、これもひとえに皆様のご協力、ご支援の賜物と感じております。改めて御礼申し上げます。

今年度末に向けては、更なる派遣事業、紹介事業の規模拡大をはかり、安心して皆様に就労いただける事業体制を確立して参ります。今後ともどうぞ宜しくお願い申し上げます。

郡山支社に新たな社員が入社しました

新たな仲間が加わりました!!

空席となっておりました、郡山支社の営業担当の職員が、10月16日付で1名採用になりました。合わせて、介護福祉就業支援事業の担当も10月1日付で交代しましたのでご紹介申し上げます。

営業担当者をご紹介します。

鈴木 辰徳さんです。前職は10年間サービス業の世界で、主に店頭でお客様と接するお仕事をされておりました。

持ち前の明るさで、郡山支社をさらにパワーアップしていただけたらと思っております。

介護福祉就業支援事業の担当者をご紹介します。

佐藤 美枝さんです。前職は、ハローワークや同じく介護施設運営会社で求職者の窓口や人事関係のお仕事をされていたスペシャリストです。活躍が期待されます。

お二方共々、どうぞ宜しくお願い致します。

10月16日からの体制

郡山支社の体制が一部変更になりますので、ご紹介いたします。

福島 コラッセ登録センター

代表取締役社長	安田 敬
営業部長 兼 パブリックビジネス担当室長	土屋 良一
事務担当マネージャー	渡部ひとみ
コーディネーター	能正 愛
営業担当	太宰 文恵
顧問	会田 央昭

郡山 ビッグアイ登録センター

営業副本部長 兼 郡山支社長	北浦 典子
新任 営業担当	鈴木 辰徳
コーディネーター	高田 裕希
コーディネーター	熊田 梨沙
コーディネーター	橋本 千晴
進路アドバイザー担当	大柿 貞夫
新任 福祉介護事業担当	佐藤 美枝

今年度の事業の取り組みについて

取り組み その1

弊社代表が毎月セミナーに参加

本年度より、弊社代表取締役社長の安田がワールドユアカデミーの研修に参加しております。

脳の働きを科学的に分析し、人と人のコミュニケーションの取り方を考えたり、医学的な体の仕組みについて勉強をさせていただいております。

研修は、経営者や経営幹部が中心に受講されていて、リーダーシップを磨く一環としての役割も担っております。今後、社長通信を通じてお伝えする機会を作りますので、どうぞご期待ください。

「人が生きる奇跡の組織創造を目指して」

ビジョン経営を実現する
株式会社World U Academy
<http://www.world-u.com>



取り組み その2

毎月定期の幹部会議を開催

毎月一回、平日の午前中に幹部社員4名と弊社顧問会計事務所幹部のご出席を賜りおこなっております。

ここで事業の目的や趣旨の確認と、会社事業運営について、話し合いの場を持っております。

直近では、10月13日に今年度6回目の幹部会議をおこなっております。

内容としては、28年度上半期の実績確認と下半期の具体的な事業運営について、下半期の更なる派遣事業、紹介事業の拡大と委託事業の成果見通しについて確認をしております。今後も重要な決定事項につきましては、社長通信にてご報告させていただきます。どうぞ宜しくお願い致します。

取り組み その3

弊社 指定管理者／福島市「草心苑」の自主事業のご案内

弊社が指定管理者となり文化事業として運営しております。福島市「草心苑」主催のイベントを開催いたします。

「能を楽しもう!」と題し、お子さまを対象に日本古来の「能」に親しんでいただく企画です。参加ご希望の方は安田までご連絡ください。



今、注目されてる話題をご紹介します 人財ビジネス日記

》菊池桃子さんの講演会に参加して

先月、昨年に引き続き長男が通う学校のPTA全国研修会に参加して参りました。

その中で印象に残ったのが、同世代で日本一億総活躍国民会議のメンバーで女優でもある、戸板短期大学客員教授の菊池桃子さんの講演会でした。

演題は、夢をつなぐ子育てとソーシャルインクルージョン ～未来を拓く子たちのために、今、私たちがすべきこと～。

アイドルとして活躍した十代から二十代。結婚、出産を機に子供達が置かれた環境を変えたいため、学びの機会を得たそうです。この社会人、家庭人となってからの復学を、Uターンシップまたはリターンシップと呼ぶそうです。皆さんはお聞きになったことがありますか。

菊池さんは、学生時代には無縁だった雇用政策に関わる人材育成論やキャリア形成

論を専攻され、修士課程を修了されてます。

キャリアの語源は、ラテン語で馬車の轍(わだち)carraria(キャラリア)を意味します。馬車などが通った後に続く車輪の跡がその語源で、伴走者としてそれを支える意味もあるそうです。

これからの世界のわだち(キャリア)は、少子高齢化社会と向き合う社会では、多様な人たちが就業する集団「ダイバーシティー」が必要になる。すなわち仲間外れを作らない世の中、お互いがお互いを認め合う社会を作ること。これが題名のソーシャルインクルージョンの意味です。

老若男女、健常者も障がい者もお互いを認め合い、平等の立場で仕事をし、支えあつて生きていく。これが最も子育てにも大切なものと菊池さんは話しています。

いじめによる不登校やハンディキャップのある子供たちが、希望の持てる社会を作

りたい思いがにじんでいました。

今の子供たちが担うこれからの人口減少社会は、様々な困難が待ち構えています。国も個人も真剣に考えなくてはならない。国の雇用政策も大切ですし、キャリア教育も必要になります。これらを活かすためには希望の持てる社会が最も大切です。

子供にとっても、大人にとっても未来に向けて笑顔でいられる社会づくり、雇用政策は、大変重要に感じました。

キャリア教育については親としては、子供のコーチ役として、社員の皆さんとはお互いが人生のコーチ役として寄り添い、支え合えたら素敵だなと思いました。

私自身仕事を通じて出来ることがまだまだ有りそうです。今後とも皆様と共に成長できるよう頑張りますので、変わらぬご指導ご支援をお願い申し上げます。

